

最近、WAY の指導の強みについて改めて考えています。英語力の土台は文法と語彙です。英文法強化クラスでは、この基礎を徹底して鍛えています。その上に「英文を論理と構造で読む力」を積み上げることを大切にしています。

IELTS と SAT クラスの授業で目指しているのは、英文を読ませて答え合わせをすることではありません。文法と語彙を土台に、英文をく論理と構造で読む訓練をを重ねることで、生徒の頭の使い方そのものを変えていくことです。

英語の文章では、同じ内容を別の表現で言い換えたり、二つの考え方を対比したりしながら、論理が組み立てられます。これがアナロジーとコントラストです。この構造を見抜けると、英語の力は別物になります。

この構造を意識して読む訓練を続けると、生徒の読み方は少しずつ変わっていきます。感覚で意味を取るのではなく、論理で英文を読むようになります。すると、筆者の主張や設問の意図が見え、高度な英文も明晰に理解できるようになります。それが卓越した成果につながっていきます。

AI の時代、情報を得ることは容易になりました。しかし、答えの正しさや深さを判断するには、人間側の論理力と構造理解が不可欠です。これは、これからの学びにおいてますます重要になる力です。

WAY のミッションは「次世代を強化する」ことです。これからも、生徒一人ひとりがより深く読み、考え、判断し、卓越した成果を出せるよう指導してまいります。

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## 英文法強化クラス

英語の基礎は、単語と英文法を徹底的に強化することによって作られます。多くのインター生は英文法を学んでいないので、ブロークな英語のまま放置されています。それは、まるで液化化した土地に建物を建てていることに似ています。WAY では、岩の上に家を建てるように、嵐が来ても、びくともしないしっかりとした基礎を作ることを目指しています。そうすることによって、更なる英語力を伸ばす土台を作ります。

## IELTS クラス

現在、英語の教材のリーディングテキストとしては、IELTS の教材が最も優れていると私たちは判断しています。読む力以上に、ライティングやスピーキングの力が上がることはありません。IELTS クラスでは、論理的に英語を読む訓練を徹底的に行っています。また、IELTS の読解を通して、TOEFL の点数を上げるために、TOEFL 無料講座を動画で提供しています。このクラスからでも、慶應大学や早稲田大学に合格する生徒がいます。

## SAT クラス

欧米、シンガポールのトップレベルの大学、および日本のトップレベルの大学を突破できる力をつけるクラスです。現在の欧米の入試テストで最も難易度の高い英語の教材で指導しています。このことによって、TOEFL や IELTS テストに余裕を持って臨むことができ、高得点を取ることができます。こうした難易度の高い英文には、英語を論理的に読むという訓練が必要です。論理力がない限り、高度な英語力を培うことはできません。このクラスからは毎年 IB スコアで 40 以上(今年は 45 の生徒がいました)が取れるライティング指導もしています。また、TOEFL100~110 点以上を目指しています。指導期間が必要ですので、お早めにご相談ください。

## 日本語クラス

日本語クラスでは、論理的に読むこと・書くことを基礎から応用 (IB レベル) までの日本語を指導しています。特に、インター生の場合は、インターで優れた教員についている場合、論理力がある程度身に付いています。その力をさらに引き出すことで、高度な日本語をマスターできる方法を開発しました。論理力を身に付けることで、正確な思考力が養えます。それによって、IB の日本語での高得点が取れ、かつ英語のライティングも精緻な構成力を持った論文が書けるようになります。(このクラスからケンブリッジ大学、シカゴ大学、シンガポール国立大学、インペリアル・カレッジ・ロンドン、東京大学などの合格者を出しています。) 論理的な思考力なくして、IB で高得点を取ることは不可能です。日本の教育では、論理をほとんど教えていません。しかし、国際社会で生き抜くためには、論理力が必要不可欠だと私たちは考えています。